ピアジェ「スウィンギング ペブル」が、2026 年ジュネーブ・ウォッチメイキング・グランプリ（GPHG）「ジェムセット」賞を受賞

― ピーターサイトを削り出した唯一無二のハイジュエリー ソートワールが称える、卓越したサヴォアフェールと大胆なクリエイティビティ ―

2026 年、時計業界の最高峰と称されるジュネーブ・ウォッチメイキング・グランプリ（Grand Prix d'Horlogerie de Genève / GPHG）において、ピアジェの「スウィンギング ペブル」が「ジェムセット（Gemset）」部門賞の栄冠に輝きました。希少なオーナメンタルストーンであるピーターサイトを丸ごと削り出して制作された、小石（ペブル）モチーフの極めてプレシャスで個性的なこのソートワール。ピアジェが誇る卓越したサヴォアフェールと大胆なクリエイティビティが高く評価され、栄誉ある受賞を果たしました。

「21st Century」コレクションの精神

1969 年、ピアジェがカフウォッチとソートワールで構成される**「21st Century」コレクション**を発表したとき、それは時計の概念を根底から再定義しました。それらは単なるタイムピースにとどまらず、「身にまとう芸術作品」そのものでした。時計は、ピアジェが受け継ぐゴールドスミスのヘリテージ、オーナメンタルストーン、そして大胆なデザインが融合した軽やかで躍動的な時の表現へと昇華し、その後のウォッチメイキングの世界を一変させる革命を起こしたのです。

1970 年代を通じて、ヴァランタン・ピアジェはジャン＝クロード・ゲイトをはじめとする先見性あふれるデザイナーたちと密接に連携し、この芸術性を生き生きと具現化していきました。ピアジェは、個性や歓びあふれるクリエイティビティ、そして大胆さを重んじるクライアントのために、比類なきユニークピースを次々と創り出しました。時計は単に「見る」だけのものではなく、フォルムや色彩、質感がまとう人とのエモーショナルな絆を育む「感じる」ものとなったのです。

これらの「スウィンギング ソートワール」は、1970 年代のエネルギーとオプティミズム（楽観主義）を宿し、ピアジェの自由なスピリットを完璧に体現していました。オーナメンタルストーンの文字盤の上を優美に時が流れ、身振りや所作に合わせてドレープを描き、ツイストし、ダンスするように揺れる光り輝くゴールドチェーンに吊り下げられることで、時は「動き」そのものとなりました。流れるようなゴールドチェーン、オーナメンタルストーンのダイヤル、そして触れて心地よいタクタイルなデザインにより、スウィンギング ソートワールはピアジェを象徴するシグネチャーとなったのです。イヴ・ピアジェがかつて語ったように、「時計は何よりもまずジュエリーである」ということなのです。

同様の精神のもと、ピアジェの職人たちはこの 10 年間にわたり新たなフォルムを探求し続けました。例えば 1974 年には、マラカイトを削り出し、柔らかなアシンメトリーの造形を特徴とする「キモノ（Kimono）」ポケットウォッチを制作しました。滑らかで有機的なこの小石（ペブル）のフォルムは自然と手になじみ、オーガニックでありながら未来を見据えたピアジェのデザイン言語を感性

豊かに表現していました。ピアジェはコイン、インゴットなど、日常のモチーフをプレシャスなクリエイションへと昇華させながら、さらなるフォルムと表現の探求を重ねていきました。

新世代の「スウィンギング ソートワール」

今日、ピアジェはそのクリエイティブなエネルギーを、タイガーズアイ、ヴァーダイト、ピーターサイトという 3 種のオーナメンタルストーンから継ぎ目なく削り出された新しいモダンなスウィンギング ソートワール「スウィンギング ペブル」コレクションへと注ぎ込んでいます。

各ペンダントウォッチは、1 枚のストーンから削り出され、自社製ムーブメントを収めるために繊細に中をくり抜いた後、滑らかな小石（ペブル）のケースとなるよう組み合わされています。それぞれのペンダントは、日常の美を彩るピアジェの金細工およびチェーンメイキングのサヴォアフェールを称える、しなやかなツイストゴールドチェーンから吊り下げられています。

現代的な感性で再解釈されたこれらの新しいスウィンギング ソートワールは、ピアジェの芸術性と動きの世界への洗練された扉を開きます。これらは一体となって、大胆で、触覚的で、喜びに満ちた型破りなピアジェの革新のヘリテージの継承を象徴しています。

芸術性に火を灯す熟練の技

ピアジェにとって、時は常に測定する以上のものであり、動きであり、リズムであり、ダンスでした。「スウィンギング ペブル」は、フォルム、クラフツマンシップ、そして自由を祝福する時計として、このフィロソフィーを改めて具現化しています。ゴールド、オーナメンタルストーン、そしてウォッチメイキングが織りなすシームレスな調和は、それぞれの分野におけるピアジェの比類なき卓越した技を物語っています。

新しい小石のフォルムを纏った「スウィンギング ソートワール」は、現代のタイムピースにこのスピリットを取り込んでいます。ヘリテージに忠実でありながら、極めて現代的なピアジェは、過去に敬意を払いながら現代の「時の芸術」を形作り、ジュエリーと時計製造の境界を曖昧にし続けています。

【製品仕様】

- **モデル名**：スウィンギング ペブル
- **ムーブメント**：355P 自社製クォーツムーブメント
- **素材**：18K ホワイトゴールド、ダイヤモンド、ピーターサイト ケース＆ダイヤル
- **ブランド**：ピアジェ（Piaget）